

《証券コード:3041》  
東証スタンダード市場

BEAUTY  
KADAN  
ホールディングス

2025年6月期 第2四半期

# 決算説明会資料

2025年2月27日

株式会社ビューティカダンホールディングス

01. 2025年6月期 第2四半期 業績ハイライト
02. 各事業部の傾向と対策
03. 株主還元等
04. 2025年6月期業績予想

各事業とも回復基調で増収も、円安・原材料費高騰、HD化関連費用計上により営業利益は前期比微減

(単位:百万円)

	2024/6期 2Q	2025/6期 2Q	前年同期比 増減率	2024/6期 実績
売上高	3,556	3,880	+9.1%	6,982
売上原価	3,102	3,428	+10.5%	5,988
売上総利益	453	452	△0.2%	994
営業利益	11	△39	—	84
経常利益	17	△33	—	99
親会社株主に帰属する 中間純利益	3	△32	—	28

▶ 前期比で粗利益率横ばい、1Q比では原価率改善

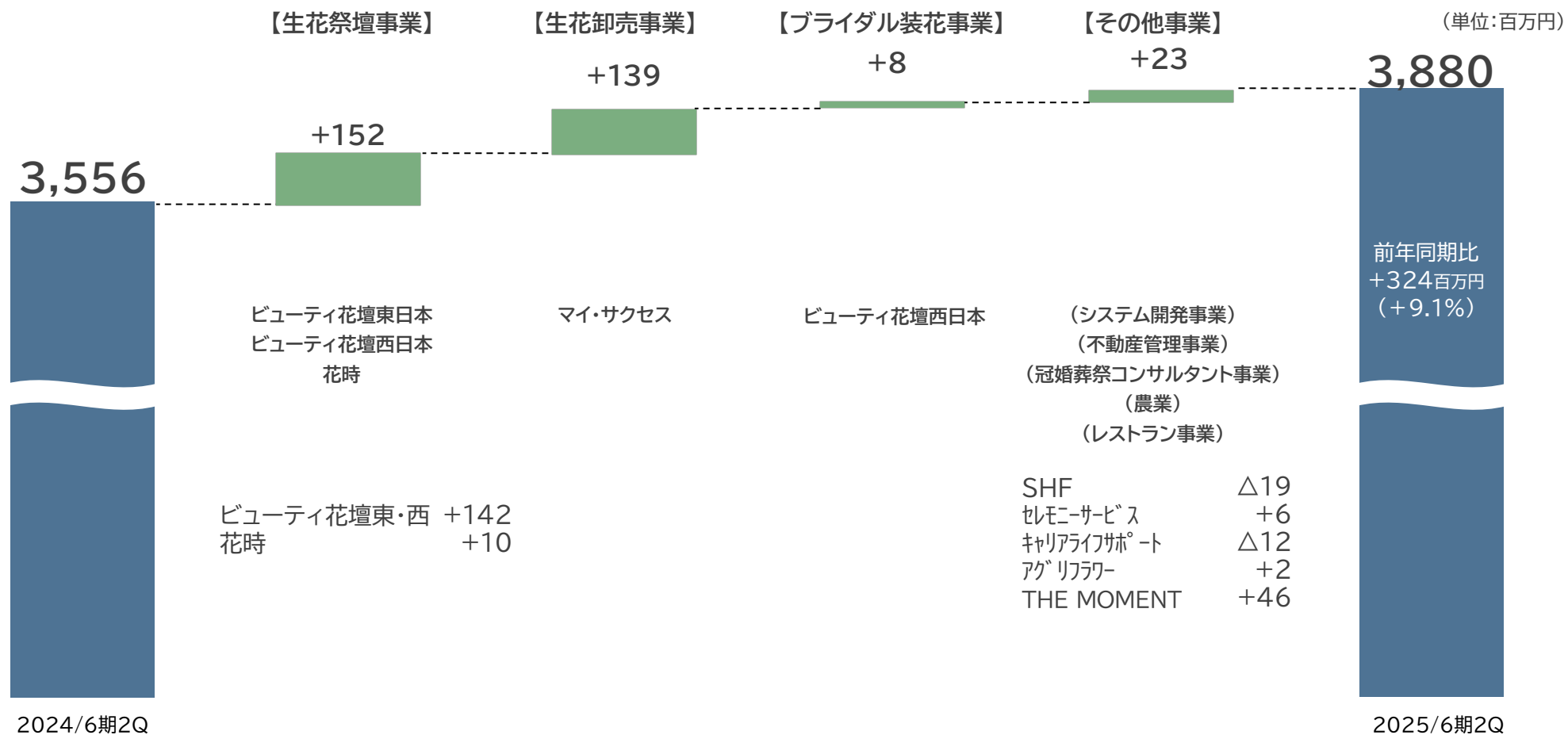
(単位:百万円)

	2024/6期 1Q	2025/6期 1Q	前年同期比 増減率	2024/6期 2Q	2025/6期 2Q	前年同期比 増減率
売上高	1,707	1,807	+5.9%	3,556	3,880	+9.1%
売上原価	1,517	1,625	+7.1%	3,102	3,428	+10.5%
売上総利益	190	182	△4.4%	453	452	△0.2%
営業利益	△31	△74	—	11	△39	—
経常利益	△28	△71	—	17	△33	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△31	△58	—	3	△32	—

# 01 2025年6月期 第2四半期業績ハイライト

《連結売上高の前期比分析》

▶ グループ全社では前期比 9.1%(324百万円)の増収



# 01 2025年6月期 第2四半期業績ハイライト

《セグメント別決算概況》

(単位:百万円)

	2024/6期2Q		2025/6期2Q		前期比		2023/6期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生花祭壇	1,834	131	1,987	95	+8.3%	△27.0%	3,864	332
生花卸売	1,287	26	1,427	41	+10.9%	+54.6%	2,239	32
ブライダル装花	166	9	175	△9	+5.2%	—	353	△2
その他	267	5	291	△38	+9.0%	—	525	△2
調整額	—	△161	—	△128	—	—	—	△275
計	3,556	11	3,880	▲39	+9.1%	—	6,982	84

- 生花祭壇事業: 新規拠点開設によるエリア展開が奏功し増収、利益面では原価高騰・人件費UPが影響
- 生花卸売事業: 夏～秋の気温上昇・台風による入荷量減少→販売単価高騰に加え、取扱量が増加し、増収増益
- ブライダル装花事業: ブライダルやや減、リテール部門において新規出店・造園売上UPにより増収も原価・人件費UP

# 01 2025年6月期 第2四半期業績ハイライト

《連結貸借対照表》

(単位:百万円)

	2024/6末		2024/12末		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
<b>資産の部</b>					
流動資産	1,799	66.2%	1,784	65.4%	△14
固定資産	918	33.8%	934	34.2%	+15
繰延資産	—	—	10	0.4%	+10
<b>資産合計</b>	<b>2,717</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,729</b>	<b>100.0%</b>	<b>+11</b>
<b>負債の部</b>					
流動負債	1,282	47.2%	1,350	49.5%	+68
固定負債	891	32.8%	869	31.8%	△22
<b>負債合計</b>	<b>2,173</b>	<b>80.0%</b>	<b>2,219</b>	<b>81.3%</b>	<b>+46</b>
<b>純資産の部</b>					
株主資本	544	20.0%	509	18.7%	△34
その他の包括利益累計額	0	0.0%	0	0.0%	0
<b>純資産合計</b>	<b>544</b>	<b>20.0%</b>	<b>509</b>	<b>18.7%</b>	<b>△34</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,717</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,729</b>	<b>100.0%</b>	<b>+11</b>

# 01 2025年6月期 第2四半期業績ハイライト

《連結キャッシュ・フロー計算書》

(単位:百万円)

	2023/12	2024/12
営業活動によるキャッシュ・フロー	0	△184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50	△95
現金及び現金同等物の増減額	△65	△286
現金及び現金同等物の期首残高	954	1,071
現金及び現金同等物の期末残高	889	785

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

⇒主に、税金等調整前中間純損失17,588千円、仕入債務の増加額209,626千円を計上した一方で、売上債権の増加額272,709千円を計上したことによるもの

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

⇒主に、有形及び無形固定資産の取得による支出33,809千円によるもの

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

⇒主に、借入金の減少63,538千円、親会社による配当の支払額16,229千円によるもの

【参考】2023/12(2024/6期 2Q)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

⇒主に、税金等調整前四半期純利益17,435千円、仕入債務の増加額144,774千円を計上した一方で、売上債権の増加額182,323千円を計上したことによるもの

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

⇒主に、有形固定資産の取得による支出15,881千円によるもの

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

⇒主に、借入金の減少2,768千円、親会社による配当の支払額36,445千円によるもの



### 生花祭壇事業

	2024/6期 2Q実績 (2023/12)	2025/6期 2Q実績 (2024/12)
売上高	1,834	1,987
営業利益	131	95

#### 《売上高》

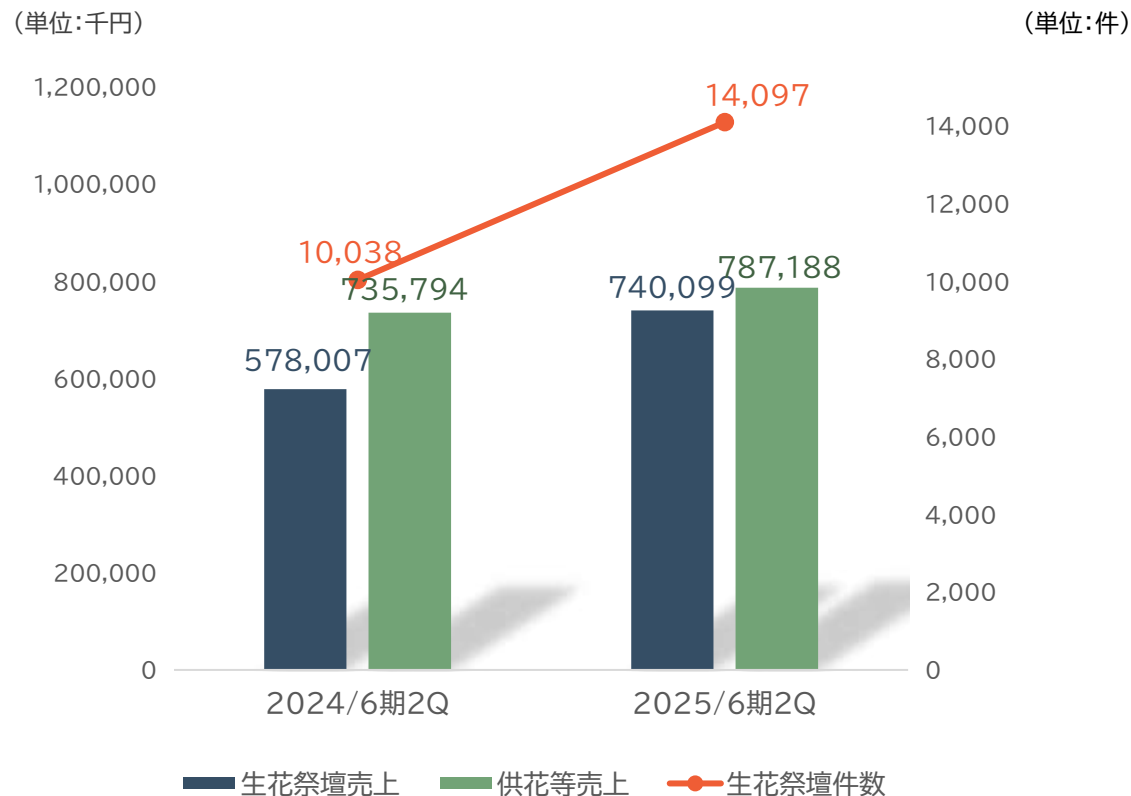
- ・全社→各グループとも概ね前期比増
- ・ビューティ花壇東日本→拠点展開により東北エリア売上UP 東海エリア前期比増
- ・ビューティ花壇西日本→拠点展開により新規売上・関西エリア回復、中国・熊本エリア好調

#### 《営業利益》

- ・原価率アップ → 輸送費の高騰 円安の影響大
- ・販管費 → 人件費増

### ■生花祭壇・供花等売上・件数

ビューティ花壇東日本・西日本の合計 ※花時は除く



※施行費・その他は除く

※2024/6期2Qには、倉敷エリア・熊本エリアは含まれておりません



生花祭壇の平均単価  
57,851円(2023/12)  
⇒ 52,500円(2024/12)

HD化前のエリア同士での比較  
⇒ 55,831円(2024/12)



小規模祭壇の件数増加によりダウン

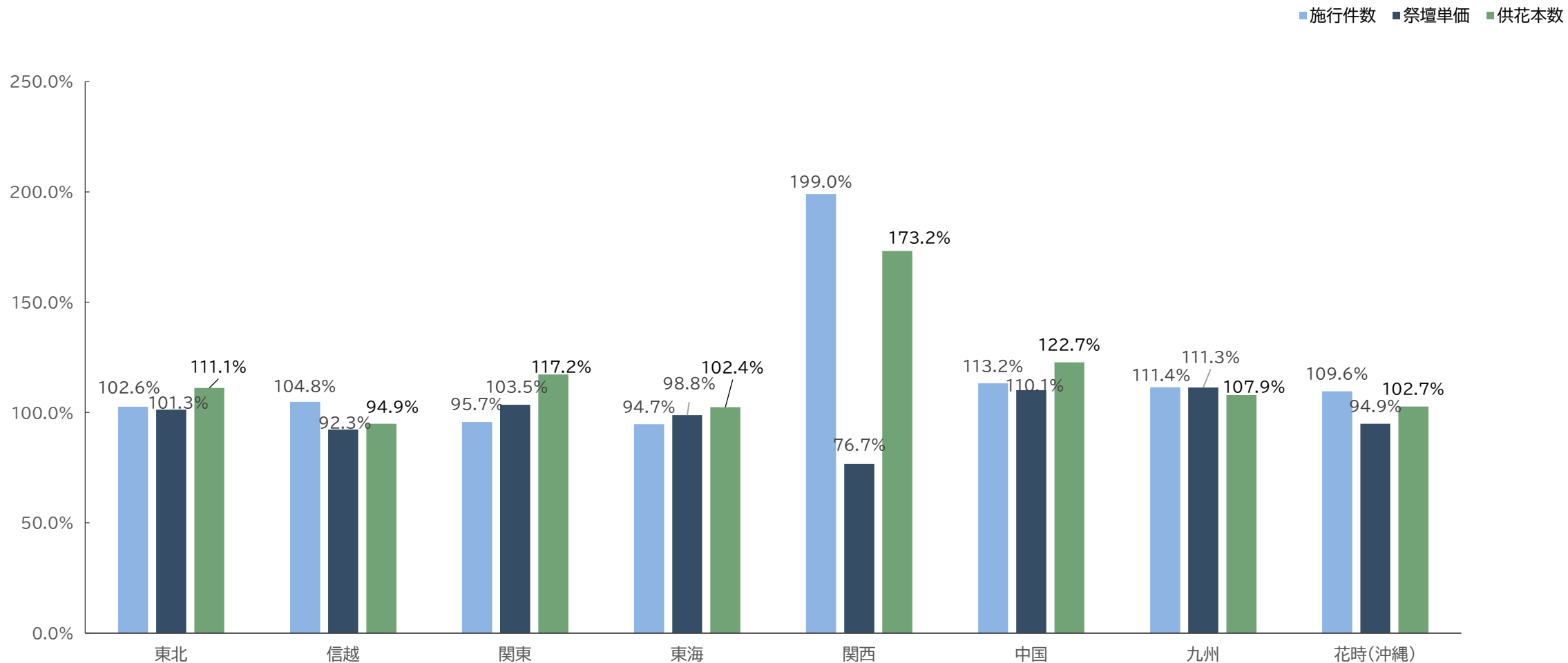
関東エリアにおける生花祭壇の平均単価

54,439円 → 56,507円



回復基調に

### ■ 施行件数・祭壇単価・供花本数前期比較

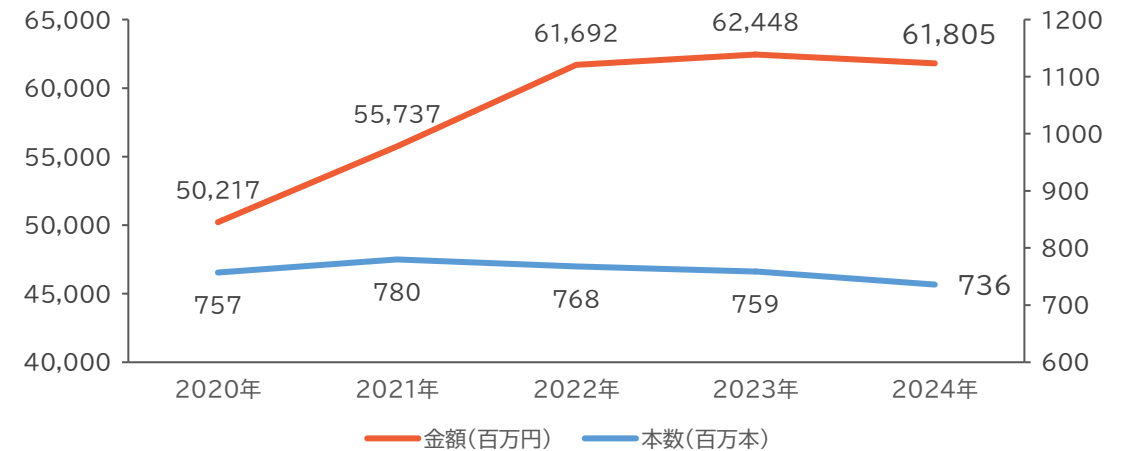


### 生花卸売事業

	2024/6期 2Q実績 (2023/12)	2025/6期 2Q実績 (2024/12)
売上高	1,826	2,041
営業利益	26	41

※セグメント間の内部売上高を含む

生花(切り花)取扱金額・本数の動向



(出典 東京都中央卸売市場「市場統計情報」)

#### 《売上高》

- ・外部売上 → 前期比+139百万円 内部売上 → +74百万円
- ・中盤に一時的に単価が平年並みとなるも、期の前半での気温上昇の影響が続き販売単価高騰  
+輸入品取扱い量増により増収

#### 《営業利益》

- ・販売本数・単価UPによる増収を受け増収

### ブライダル装花事業

	2024/6期 2Q実績 (2023/12)	2025/6期 2Q実績 (2024/12)
売上高	166	175
営業利益	9	△9

#### 《売上高》

- ・ブライダル → 前期比やや減:関西エリアは比較的好調も九州エリアやや苦戦
- ・リテール → EC:横ばい SHOP:新規出店により売上増 造園事業:実績積み上げ売上増

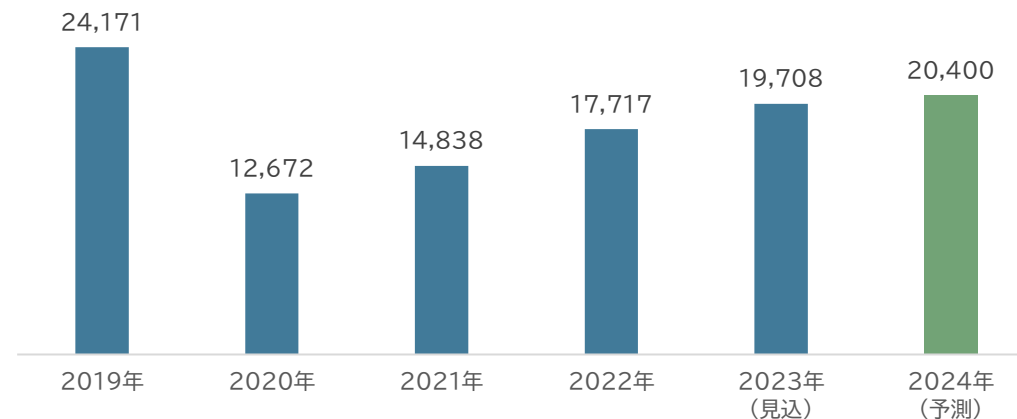
#### 《営業利益》

前期から減少

- ・ブライダルは原価低減も人件費増、リテール(SHOP)は原価率、人件費率ともに増加し減益
- ・造園:売上増に伴い増益

ブライダル関連市場規模推移

(単位:億円)



(出典 矢野経済研究所:ブライダルに関する調査 2024/4/30)

## 02 各事業部の傾向と対策【その他事業】

### その他事業

	2024/6期 2Q実績 (2023/12)	2025/6期 2Q実績 (2024/12)
売上高	267	291
営業利益	5	△38

#### 《売上高》

##### 前期比増

- ・SHF → 葬儀関連システムにおいて特需があった前期比では減収
- ・セレモニーサービス → 施行件数増・単価UPにより増収
- ・キャリアライフサポート → 『令和6年度障害福祉サービス等報酬改定』の影響により売上減
- ・THE MOMENT → 2Qより売上計上

#### 《営業利益》

- ・SHF 売上減により減益
- ・キャリアライフサポート 売上減により減益
- ・アグリフラワー 連作障害により減益

#### (株)SHF

システム開発事業

193百万円 → 174百万円

#### (株)キャリアライフサポート

就労継続支援事業

43百万円 → 30百万円

#### (株)セレモニーサービス

冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務

30百万円 → 36百万円

#### (株)THE MOMENT

レストラン事業

-百万円 → 46百万円

## ▶ 経営基盤の強化

### 新体制(ホールディングス)機能の強化・M&Aによる事業多角化

- ➡ さかいや生花店(福島県)の株式取得  
→ その他案件についても鋭意検討中

### 人的資本の価値向上に向けた取り組み強化 (ダイバーシティ推進、人材育成強化)

- ➡ 採用部門強化による新卒・中途採用増への取り組みスタート  
→ 2Qも継続中

### DX推進による業務効率化

- ➡ Web受注システム開発による社内業務の効率化・CRMと連携した施行情報の集約化の検討スタート  
→ 要件定義へ

## ▶ 各事業の売上拡大(グループ収益力)の強化

### M&Aを含めた既存事業エリアの戦略的拡大

- ➡ 福島エリアでの商圈拡大、仙台エリアでの拠点拡充  
→ 他エリアへの展開も検討中

### 新商品構築<生花卸売事業>

- ➡ 海外産の新たな品種の輸入・販売強化、新たな花材取扱いへの取り組み検討スタート

### 新規取引先開拓<ブライダル装花事業> 事業の成長軌道化<ランドスケープ(造園)>

- ➡ 関西エリアを中心にブライダル事業者への営業強化を進める  
➡ 民間からの受注も増加傾向にあり、業績伸張(ランドスケープ)

### 既存生産地での生産力UPと生産力増強 <農業>

- ➡ 新たに熊本県八代市において、自社農場によるキク類の生産スタート+トマト生産スタート  
→ トマト出荷スタート(2Q) + キク類の出荷へ(3Q)

## ▶サステナビリティ経営の推進と企業価値向上

### 環境配慮型商品(サービス)、脱炭素化等SDGsの取り組み推進

- ➡ ・ 環境配慮型商品、道具類の開発
- ・ 廃棄花材類の利活用
- ・ 廃棄ゴミ類の削減
- ・ 廃棄費用の削減
- ・ 車両位置情報管理システムによるCO2削減

→各大学・機関との取り組み進む  
(一部研究が4Qよりスタート予定)

### 資本効率の向上と 株主還元の拡充 (資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応)

- ➡投資案件の検討や配当政策等について、鋭意検討中

### デジタル技術の活用による社会問題解決への貢献

- ➡@葬儀(アット葬儀)のサービス拡充  
→遺影サービス提供スタートへ向け試験段階(3Q~)
- ➡・musuhi(納骨堂化アプリ)／参拝管理アプリ※の展開  
→石材会社(2社)との連携スタート  
→musuhi販売第1号/販売代理店4店契約(2024.9)



<https://goenn.co.jp/musuhi/>



株主優待制度

2024/6期 優待実績

- ・胡蝶蘭or観葉植物の割引 or プリザーブドフラワーの割引
- ・フラワーアレンジメント教室(リモート)

長期保有株主制度

➡ 3年間継続1,000株以上保有の株主様へ熊本県特産品贈呈



胡蝶蘭・観葉植物購入サイト  
(イメージ)



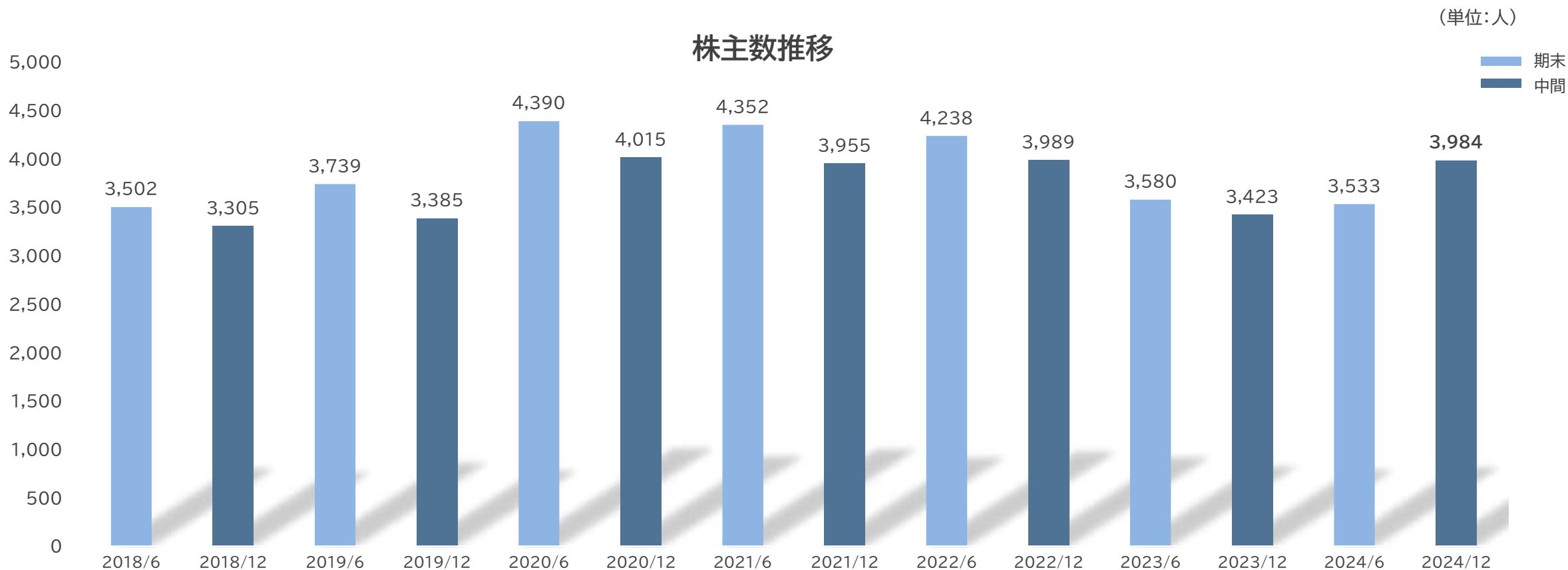
楽天市場内・SHOP  
(イメージ)



長期保有株主向け  
(熊本県特産品)



フラワーアレンジメント教室  
(リモート)



配当性向目標は50%(2024/6実績:61.1%)。  
中計施策実行による業績向上と流通株式時価総額UPを目指す。

(単位:百万円)

	2024/6期実績	2025/6期(予想)	前年同期比 増減率
売上高	6,982	7,600	+8.8%
営業利益	84	110	+29.6%
経常利益	99	110	+10.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	28	70	+145.3%
配当(円 銭)	4.00	9.00	—

## ■IRに関するお問い合わせ先

### 経営・IT企画部／経営・IT企画課

★TEL:096-370-0004

★e-mail:ir-info@beauty-kadan.co.jp

★HP:http://www.beauty-kadan.co.jp

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。